

令和6年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや伝えたいことを明確にし、相手に伝わるように書き表す力</li> <li>・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査によると、「B 書くこと」では、正答率が 69.9%と他の項目に比べると正答率が低い。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする等、自分の考えを書くことを課題としている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭で説明させるだけでなく、自分の考えをノートに文章で書くことを、今まで以上に授業に取り入れ、短文でまとめる力を付ける。</li> <li>・文章を書く前に、文章構成メモを書く習慣を身に付けさせるようにする。構成メモを活用し、自分の思いを表現することを意識させる。</li> </ul>

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な見方・考え方を働かせ、社会生活について理解し、情報を適切に調べまとめる技能を身に付け、思考・判断・表現する力</li> <li>・主体的な問題解決の態度、公民としての資質の基礎を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から読み取ったことを表現することや、社会的事象の意味や特色、関連・意味などについて考え表現することに苦手意識をもつ児童が見られる。</li> <li>・学習したことと自分の生活とのつながりや関わりを見出すことが苦手な児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取り方、資料から分かったことのまとめ方・表現の仕方について、各時間の学習を通して継続的に指導を重ねる。</li> <li>・問題解決的な学習の流れをもとに、児童が課題意識をもって学習を進め、学習問題に対するまとめを自分の言葉で書けるよう、指導の充実を図る。</li> <li>・児童にとって身近な地域や話題を題材にして学習を進める等の工夫を行う。</li> </ul>

算数	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な数量や計算の仕方を見出し、既習の内容と結び付け統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりする力</li> <li>・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力</li> <li>・日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査によると、データの活用領域の正答率が 77.0%となっており、本校の他の領域の結果に比べて低い。また、授業後に行うワークテストでは、提示されたデータや問題文を正しく読み取り、正答を導き出すことが苦手な児童が多く見られる。</li> <li>・基礎的な計算は正確に解ける児童が多いが、文章問題になると問われていることを正しく読み取れなかったり、答えの単位を間違えてしまったりする児童が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を正確に読み取り、立式から答えまで出せるよう、繰り返し練習を行うとともに、単位のよさを味わわせる。また、実際に測定させることを通して、量感覚を育てていく。</li> <li>・日頃の授業から、数学的な表現を意識して使うとともに、学習内容に応じて目的に応じた表現について考えたり、説明したりする機会を多く作る。</li> <li>・データや文章問題から「分かること」や「求めたいこと」を整理するとともに、正答を導く立式をするまでの過程を丁寧に指導していく。</li> <li>・理科や社会等で、大きな数や折れ線グラフ</li> </ul>

		多い。	を扱う際には、算数で学習したことを振り返る等、教科横断的な指導を行っていく。
--	--	-----	--

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象の差異点や共通点を基に問題を見出す力</li> <li>・既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想する力</li> <li>・見通しをもって観察実験を行い、その結果を基に考察し結論を導き出し、問題を解決する力</li> <li>・観察実験等に関する基本的な技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差異点や共通点から問題を見出すことに課題がある。</li> <li>・予想や仮説を立てる際に、既習事項や生活経験を基に、根拠をもって説明することが課題である。</li> <li>・実験結果から考察を考え、自分の考えを文章に表現することに苦手意識のある児童がいる。</li> <li>・観察実験の際、器具の扱いに不慣れな児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然現象との出会いや体験、生活経験を基にした授業を行い、自分の言葉で問題づくりができるようにする。</li> <li>・既習事項の振り返り、生活経験から学習に関する事柄を挙げさせる等、予想や仮説を根拠をもって自分の言葉で表現できるように授業を行う。</li> <li>・予想から考察までの学習の流れを定着させ、予想や考察の場面では個人で考えてからグループや全体で共有するという流れで学習を行う。</li> <li>・実験に入る前に、正しい実験器具の使い方を確認したり、資料を提示したりする。</li> </ul>

生活	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人々や社会、自然に自ら働きかけ、その特徴やよさに気付く、自分自身や自分との生活で考え表現しようとする資質・能力を養う。</li> <li>・友達や異学年の児童、地域の方々等様々な立場の人と進んで関わろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の様子や動植物の成長に関心をもつ児童が多くいる一方、地域社会の様子を理解していたり、動植物との関わりを増やしていたりする児童は多くない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の変化や成長の様子に関心をもって植物を育てる活動を行い、生命へ親しみをもったり大切にしようとしたりする心を育む。</li> <li>・年間4回芝公園を訪れ、様々な自然観察や季節の変化に気付かせる体験的な活動を通して、動植物への興味・関心を高める。</li> </ul>

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見出しなが、音楽を味わって聴くことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音楽活動に興味をもち、意欲的に学習に向かう児童が多い一方で、演奏や歌唱の能力には個人差もあり、個別の支援を要する児童も多い。また、聴き取ったことや感じ取ったことを表現することに苦手意識をもつ児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学びに向かう姿を大切に、スモールステップで学習を進める。また、器楽においては練習時間を十分に確保することで、個別支援の時間をとる。できたことをほめたり、友達同士での教え合いをしたりすることで、自信をもたせる。</li> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことを共有する方法を工夫し、友達の考えを参考にしたり、自分の考えに自信をもたせたりする。</li> </ul>

図工	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具を使い、表し方等を工夫して、創造的につくったり、表したりする。</li> <li>・造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方等について考え、創造的に発想や構想をする。</li> <li>・作品から見方や感じ方を広げたり、深めたりする。</li> <li>・つくり出す喜びを味わうとともに豊かな情操を培う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組めない児童や早く完成させてしまう児童、授業時間内に完成できない児童等、個人差がある。</li> <li>・表したいことをどうやって表すか表し方を知るために、様々な材料や用具を使わせて創作活動を経験させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫する時間を確保する。また、工夫して表せるように、表現方法に応じた材料や用具の活用を提案する。</li> <li>・今までの経験を生かした題材を設定し、取り組みやすいようにする。</li> <li>・鑑賞の活動を通して、自分達の作品や身近な美術作品に興味や関心をもつように、鑑賞や展示の仕方を工夫する。</li> </ul>

家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自分たちの生活に活用する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能の定着が不十分な児童や時間の経過と共にあやふやになる児童が見られる。</li> <li>・授業内の学習だけで完結し、学習を家庭に繋げられる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意欲を大切に、家庭で実践することを奨励し、周りに紹介することで、学習を家庭生活でも生かしていけるような学習サイクルを作る。</li> <li>・裁縫、調理においても既習事項を生かすような学習計画を立てることで、習得した知識や技能を確実に身に付けられるようにする。</li> </ul>

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に親しみ、健康の保持増進と体力向上を目指し、主体的に取り組む力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭が屋上のため、児童が十分に運動する機会が少ないので、意図的に運動する機会を作り、児童が主体的に運動に取り組めるようにする。</li> <li>・新体力テストでは、昨年度に比べて東京都平均と同じ数値まで記録を伸ばすことができているが、全学年において「長座体前屈」が平均を下回ることが多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に体全体を使う遊びの敢行、体力向上タイム(短・長縄跳び)、体育的行事を通して、日常から運動に取り組むことができる環境を整え、持久力・調整力等に重点を置き体力の向上に取り組む。</li> <li>・低学年から身体の柔軟を取り入れた運動を計画的に取り入れる。児童が身体を動かしたり、仲間と協力して運動したりすることが楽しい・面白いと感じられるよう、教材研究を行い、運動の取り組ませ方を工夫する。</li> <li>・ICT 教材やワークシートを活用して、動きのポイントを確かめる等、視覚的に学ぶ機会</li> </ul>

			を充実させる。
--	--	--	---------

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・人との関わりに必要な自己表現力や国際社会に対応するためのコミュニケーション能力の基礎となる力を身に付ける。	・アクティビティや学習で学んだ表現を使って意欲的に参加する児童がいる一方、主体的にコミュニケーションを図ったり伝えたりする意欲や表現力には差が見られる。	・単元に合わせたアクティビティやゲームを取り入れることで、英語に慣れ親しみ、活用できるような場を積極的に設定する。 ・学習状況に応じて、既習の英単語や表現を使ってスピーチやコミュニケーションをする活動を取り入れ、主体的に表現する力を高める。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自己を見つめ、物事を多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力・実践力を育む。	・資料の読み取りになってしまう児童が複数名いる。自分事として内容を捉え、考えられるようにしたい。 ・意欲的に発表する力はあるが、友達の意見を聞いて考えを深めることに課題がある。	・導入や展開を工夫して、資料を自分事として捉えることができるようにしていく。 ・意見交流や対話的な活動を取り入れ、他者の考えをもとに自分の考えを深めることができるようにする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・多様な他者と関わる集団の中で、人間関係をよりよいものにしたたり、自己の課題を発見し改善して、よりよい生き方を追求していこうとしたりする資質・能力を養う。	・係活動など、少人数での活動には積極的に取り組み、人間関係構築してことができるが、全校での行事等では、主体的に参加することが難しい児童も見られる。	・グループなど少人数で協力して取り組むことはできるので、それぞれが自分の考えをしっかりとって、主体的に取り組めるように個別に指導をする。 ・できたことを称賛し価値付けすることで、自己肯定感を高める。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・体験活動等を通して、課題を設定し、課題意識をもつ力を付ける。 ・比較したり、分類したり、関連付けたりして収集した情報を整理したり分析したりする力を付ける。	・調べ学習において、適切に課題を理解している児童もいたが、本来のねらいとは少しそれてしまう児童もいた。 ・比較したり、分類したり、分析したりする力が十分ではない。	・探究的に取り組めるよう、学校の特徴や地域の特徴を生かした課題設定を行う。また、調べ方や発表の方法を発達段階に応じて高めていく。 ・学習したことや調べたことをまとめる際には、紙面だけでなくICT機器を積極的に活用して、児童が主体的・効率的に比較、分類、分析を行えるような工夫をする。